

内視鏡外来

【腹腔鏡手術】

当院では卵巣腫瘍、子宮筋腫、子宮内膜症、子宮外妊娠などの良性疾患を主な対象に腹腔鏡手術を施行しています。年間症例数は約 250 件と京都府下ではかなり多い病院となっています。

当院は腹腔鏡手術技術認定医が在籍する日本産科婦人科内視鏡学会認定研修施設でもあります。婦人科腹腔鏡手術でも高い技術を要する腹腔鏡下子宮全摘術（TLH）が年間約 90 例（腹腔鏡手術全体の 35%）と多いのが特徴です。また、2016 年からは子宮体がんにたいする腹腔鏡手術も開始しました。他院から TLH を必要・希望とする患者様のご紹介を多数いただけますのは、当院の技術に対する信頼をいただけているものと自負しています。

一般的には開腹で行うような、臍を超えるような巨大な卵巣腫瘍や子宮筋腫などでも、術前の投薬や手術方法の工夫で腹腔鏡手術が可能にできる場合があります。

●腹腔鏡手術の手術方法

婦人科腹腔鏡手術は臍と下腹部に小さな創をあけ、二酸化炭素ガスを注入、腹壁をもちあげてスペースをつくります。鉗子と呼ばれる細い器械をお腹の中に挿入し、手術を行います。そのため、開腹で行う手術とは異なった知識や技術が必要です。

創部が小さいために術後の痛みも少なく普段の生活に早く戻れますし、傷も目立ちにくくなります。

基本的には 5 mm または 12 mm の創 4 か所の 4 孔式で行うことが多いですが、可能であれば創を減らして行います。3 cm 程度の小切開を必要とする場合もありますが、開腹手術の創部が約 10-15 cm となることと比較すると、かなり小さいものとなります。

（臍部 2.5 cm、左臍・左右下腹部 5 mm 創の場合、術後 1 年）▶
※治癒経過には個人差があります。



最近、腹腔鏡手術での事故例がニュースとなり、危険性を心配する患者様たちの声もあります。当院の腹腔鏡手術は開腹手術を腹腔鏡下に再現するというコンセプトで行っており、何にもましてまず安全が第一ですので、腹腔鏡手術で安全に終了可能かを術前にしっかり検討したうえで決定しています。術前に経過と手術内容をしっかりご説明し、安全が担保されない場合は開腹手術に変更になる可能性があることもご理解を得て、手術を行っております。現在のところ、実際に手術途中で不測の事態のために開腹に術式変更する症例はほぼなく、術前の評価が的確に行われている結果と考えています。

●臍部単孔式手術

臍1か所に3cm弱の創をあげ、その部分の傷のみで腹腔鏡手術を行う方法です。卵巣腫瘍の付属器切除術、子宮外妊娠、筋腫核出術（小さいもの）などを対象にしています。腹部に数mmの傷を追加する場合があります。臍の傷は3cm弱ですが、ほとんど臍のくぼみに隠れるため、わからなくなることも多く整容性に優れています。



▲（臍部 2.5 cm、単孔式、術後 1 年）
※治癒経過には個人差があります

●退院までのスケジュール：

手術前日の入院、手術、術後 3-4 日目の退院、で計 5-6 日間が標準の入院期間となります。
術翌日より歩行開始、術後 1-2 日目よりシャワー可能です。

【子宮鏡手術】

子宮鏡手術は子宮に内腔にできた子宮粘膜下筋腫や子宮内膜ポリープなどを子宮の入り口から中にモニターをついた切除器具を挿入して切除する手術方法です。

病変の大きさや子宮内腔への突出度（飛び出し具合）で適応が限られますが、子宮筋層への影響も最小限ですみ、術後の痛みもほとんど認めず、手術翌日の退院が可能です。適応となるならとてもよい手術方法です。病変が大きくても、手術前の投薬治療で適応にできる場合もあります。

●退院までのスケジュール

手術当日に入院し、午後に手術、翌日退院の 1 泊 2 日です。

【主な診療実績】

主な診療実績		2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	
婦人科							
内視鏡手術		296	288	255	249	225	
良 性	腹腔鏡	腹腔鏡下子宮全摘術	84	91	88	86	94
		腹腔鏡下子宮筋腫核出術	28	42	23	28	20
		腹腔鏡下卵巣腫瘍手術	83	83	82	59	69
		腹腔鏡下子宮内膜症手術	38	34	30	36	27
		腹腔鏡下子宮外妊娠手術	14	9	17	10	7
		(以上のうち単孔式)	(13)	(8)	(1)	(1)	(2)
	子宮鏡	子宮鏡下手術(筋腫・内膜ポリープ)	18	14	18	16	18

【担当医より】

他院で手術を勧められ、開腹手術しか行えないと言われた、できるだけ小さい傷、少ない傷で手術を受けたい、痛みの少ない方法がいい、早期退院を希望するという方は一度ご相談ください。内視鏡外来は直接予約可能です。可能であれば紹介状・前医で撮影されたMRIなどの画像データを持参ください。

安心して治療を受けて頂けるように配慮しています。また、患者様一人一人の背景・年齢・希望が異なるため、その方にとっての最善の治療法というのが同じ疾患であっても異なる場合があります。そのため、内視鏡手術以外の治療法をご提示することもあります。質問があれば、なんでもお聞きください。一緒に最善の治療法を探しましょう。

内視鏡外来：金曜日 午後3：00～

担当 日本産科婦人科内視鏡学会内視鏡技術認定医 衛藤美穂